**7月11日　日本環境設計株式会社　代表取締役　高尾正樹　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

Back to The Futureのデロリアンを実現させたというお話を聞いて、“循環型社会をつくる”という理念を、皆が見た夢を実現させる、ということにつなげるのはとてもいいアイデアで、皆がいらなくなった衣類を持ち合わせ、私達が以前着ていた服で、あのデロリアンが動く！　というのは話題性もあり、世に衣類のリサイクルのことを普及させるいいきっかけだと思いました。世に出回っている衣類のうち、リサイクル率は11%で約9割は燃やされていると知って、特に春物の間では服の流行の移り変わりが激しくて、たくさんの似たような服が次々に作られているけど、買った後や、売れ残った時、それらはどうなるの？　と考えることは少ないと思います。作ることをたくさん考えるのなら責任持って、作った後の、衣類の扱い方ももっと考えるべきだと思いました。（経営学部　1年）

学生のときに作ったベンチャーの失敗の原因が「目的がなかった」だったというのが、自分の今の生活にも投影できると感じました。大学という自由な環境の中、「目的を持つ」ということがいかに難しく、大切なことであるかを最近私は感じているからです。高尾さんが大切だと仰っていた「自分で考える、独立する」ということも、何か目的や目標がなければできるものではないと思いました。そのようなことを感じつつ講演を聞く中で最後に「操業停止する工場をリサイクル工場にしたい」という夢を聞いて、やはり大きくも明確な目標をもっているのだ、素敵だ、と思いました。（理工学部　化学・生命系3年）

最初の『Back to the Future』に関する話から、髙尾さんの夢見ていること、やりたいことがひしひしと伝わってきました。携帯電話のリサイクルから、メダルを通じて東京オリンピックに繋がるという発想が非常に面白いなと思いました。日本環境設計のリサイクルインフラの実現は簡単なことではないと思いますが、実現できたら持続可能な社会への大きな一歩になると思いました。また、日本の「もったいない」にも触れていて、その文化の重要性を改めて認識しました。「ひとりじゃなにもできない」という言葉が印象的で、うまくなるべく多くのコネクションを持つことの大切さが伝わりました。

本日は貴重なお話ありがとうございました。（経営学部　経営学科　1年）

今回のお話で1番印象に残ったのは、やはり自己破産を過去3回もしているおじいさんに2000万円投資したということです。初め話を聞いた時はそれはないだろうと私も当時の高尾さんの会社の社員や株主のように思いました。しかし結果的に成功していて将来どっちに転ぶか分からないので、結局信じなければならないのは相手のことを見極める自分自身なのだと思いました。リーダーに求められる「今全員が反対しても将来的に絶対納得してもらえる」ということは確かにそうであるけれど難しいことだと思います。その意味でやはりリーダーというのは孤独であり、責任が重く、大変であるのだと改めて思いました。（経済学部　１年）

日本人のもったいない精神にもつながるリサイクル、携帯電話を回収し、メダルをつくるなどのアイデアが素敵だなと思った。一見したところゴミであっても、人が喜ぶものへとつなげられる発明がすごいなと思った。今回、「リーダーとは」という話があって、今まで「リーダーとは何か」直接的に聞くというよりは、その人の経験を聞き、学ぶといった感じが多かったのと思うが、今回はめずらしく直接的にきけたの、とても興味深かった。リーダーとは、孤独な独裁者であるというお話があった。しかし、自分がいいリーダーであると思うときは、会社が続いていく限り、わからないということかなと思った。成功し続けていても、一度失敗すると結局失敗になっちゃうのかなと思ったらリーダーとは難しい。(教育人間科学部　人間文化課程　2年)

現会長から学んだこととして、3つ挙げていた。1つ目は、一人では何もできない。2つ目は、戦わないで何かもらう。3つ目は、仕組みをつくる。御社の場合では1つ目は、イオンや無印商品などの小売業者に服の回収を協力してもらうことで色々な人を巻き込んでいた。2つ目は一部上場企業による裏切りをうまく利用したこと。3つ目は一つ目と重なる部分もあるが、回収拠点を作るということだった。また、リーダーとしての判断力にも優れたところがあった。ポリエステルの分解技術をもっている人に関してその信頼性を独断的に評価して契約をしたというのがその例である。結果としては、成功した。今反対されたとしても将来賛同されるということを見極める能力もリーダーには必要だと思った。(理工学部　化学生命　3年)

「この会社は大学院生のときに作った会社です。」とさらっとおっしゃっていましたが、学生時代に起業していることに驚きました。映画を見てそこからそれを実現したいと思って会社を作るのはとても夢のあることで素敵なことで、それを本当に実現したことがすごいなと思いました。オリンピックのメダルを携帯電話から作るというプロジェクトに関してですが、誰もが持っている携帯電話から金・銀・銅をとれることにまず驚きましたし、その技術がすごいなと思いました。私も携帯番号をリサイクルに出して貢献したいと思いました。「(経営学部 経営学科 1年)

印象に残った言葉は高尾さんが現会長に教わったという三つの言葉である。一つ目の「一人では何もできない」という言葉はよく聞く言葉ではある。しかし本当にそのことを理解できるのは、何かに失敗してからだと思う。できるならその言葉の本質を早く理解したい。二つ目の「喧嘩はするな」という言葉は初めて聞いた。実例を聞いてみるととても面白い。怒りという感情に身を任せるのではなく、相手から何かをもらう。「肉を切らせて骨を断つ」みたいなことを思った。三つ目の「仕組みを作れ」というのは納得できる。やっぱり成功している会社は仕組みを作り、世の中で使われていると思う。（経営学部　１年）

確かに循環型社会をつくるというだけではつまらないなって思ってしまうところに、バックトゥザフューチャーのような企画をくっつけて、楽しさをもたせて興味を持ってもらうというのは素晴らしいアイデアだと思いました。1つ1つのプロジェクトが面白くて、協力したいと思いました。自分がまさしく1人でなんでもやってしまおうと思いがちなので、1人では何もできないという点はすごく心に刺さりました。海外留学制度、非常に良いと思いました。就職活動を検討したいくらいです。自分で考えてやるということを自分もしていきたいです。（経営学部　1年）

夢の実現のために会社を作って、ユニバーサルスタジオと協力するなんて、世間からみたらめちゃくちゃですけど、これからの時代にはとても必要なインセンティブだと思いました。昔よく、「人の想像できることは必ず人が実現できる」という誰かが言った有名なワードがCMとして流れていたが、本当にこのことだと思いました。会社が人を育てるという言葉はこの講義で今まで聞いたことがなかったが、確かに必要だなと新たに気づかされた。（経済学部　経済学科　1年）

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

やはり、大きなことを成し遂げるきっかけは、些細な映画のワンシーンであったり、ふと言った思いつきにくいついて、叶えていく。そこから、ふと思ったことはメモをしたり、よく立ち止まって考え直してみようと考えた。（理工学部　建築都市・環境系学科　2年）

OJT改OJY「お前自分でやれ」というお話が心に残りました。自分自身、優柔不断だったり判断をなんとなく周りに合わせてしまうことがあるのですが、しっかり自分の軸を持って自分で決めて、人に任せきりになるのではなく自分でやれることは自分でやっていきたいです。（経営学部　国際経営　2年）

リーダーとは何か、経営学部でない私でも考えさせられるお話だった。高尾社長の様々なお話を聞き、普段は受け取るだけだったが、考えることが多かった。アンパンマンの歌詞なんて久々に見たけど、「何のためにうまれて、何をして喜ぶ」まだ全くわからないけど、答えがみつけられるように生きていきたいと感じた。私の家の中に眠っている携帯電話もぜひ、リサイクルしていただきたいと思う。(教育人間学科　人間文化　２年)

高尾さんの話をきいて、一番すごいと思ったのは、行動力です。ユニバーサルやオリンピック委員への交渉をするだけでなく、学生のころから会社をたち上げるために貯金を全額だしたり、会社が進展してから謎のおじさんに2000万を投資したりするなど、ここと決めたところでしっかりと行動ができるというのが素晴らしいと思ったので、自分も見習って、行動力を意識的につけて、ダイナミックなことができるようになりたいです。（経営学部　国際経営学科　2年）

一見利益が出そうもない分野・事業でもきちんと儲かる仕組みを考えることはすごく大切なことだし難しいことだと思います。普段からニーズはあるけど儲からないというものを儲かるものにする仕組みを考えるトレーニングをすると何かしらの形で将来活きてくると思いました。（経営学部　経営学科　1年）

**授業スタッフの感想**

私もですが、デロリアンみたいにゴミから燃料をつくるというアイデアを実現させようと様々なことに取り組んでいて、すごいなと思ったという感想を持った人が多いように感じました。楽しそうに仕事をしていらっしゃる気がしてうらやましかったです。3つの教訓を胸に、頑張っていこうと思いました。

本日の講演では、経営者とはどうあるべきかについて、１つの考えを聞くことができました。また、ベンチャー企業を営む上での3つの教訓は、非常に大切なことだと思います。このこととOJYは、忘れないように日頃から肝に銘じておきたいです。また、日本環境設計株式会社の事業に関して、”Circular Economy”の考え方はよく覚えておこうと思います。次回の川戸氏の講演も楽しみです。